

令和5年度



園だより



文京区立根津幼稚園

「頼れる人がいる」安心感

副園長 野本 和美

今年は1月になっても暖かい日が多く、外遊びが大好きな根津幼稚園の子どもたちは毎日喜んで外に飛び出し、こおり鬼、ドッジボール、縄跳び…と体をいっぱい動かして遊んでいます。今はどの学年も凧あげが楽しそうで、自分で作った凧を手に、風を感じながら走っています。

幼稚園では毎月「避難訓練」をしています。4月から、まずは一斉活動時に、徐々に好きな遊びの時に、と様々なシチュエーションでの訓練をし、最終的には、近くに担任がいなくても自分で安全な場所を考えて自分自身を守れるように、と経験を積み重ねています。

先日、根津小学校と合同で「避難訓練」を行いました。根津小学校とは、年に数回合同で避難訓練や不審者訓練を行っています。今回は地震の後に「津波」がきたという設定で屋上まで避難をしました。幼稚園の子どもたちだけでは屋上までスムーズに上がることができないので、6年生、5年生の児童の皆さんが手をつないで一緒に上がってくれます。「大丈夫だよ」と声を掛けながら、お兄さんやお姉さんが優しく関わってくれたおかげで、安心して屋上まで上がることができました。1月1日に能登半島で地震が起き、津波での被害がありました。その直後の津波の避難訓練です。全員が「起こる訳がない」ではなく「起こるかもしれない」という緊張感と真剣さが更に加わった様子で参加していたように思います。無事に訓練が終わったときは、ほっとしました。そして、積み重ねの大切さを感じました。

毎年、津波の避難訓練を経験すると、隣に小学校の児童、教職員の皆さんがいて、何かあったときは助けてくれるということを実感します。「幼稚園の子どもたちは、たくさんの人に守られている」「身近に頼れる人がいる」この事実がどれだけありがたいことか。これからもこの安心感のある環境の下、小学校との連携をしっかりと取りながら、教育活動を進めていきたいと思えます。



小学生と手をつないで屋上へ



屋上で小学生と一緒に話を聞きます